

毒トゲをもつ魚たち

魚の中にはヒレに毒をもつものがあります。

ここでは代表的なものを紹介します。

多くの場合、魚のヒレは、トゲの間に膜をはっている構造になっています。トゲが非常に堅くなっている魚も多く、さするとそれだけでもかなり痛みます。そして魚の中には、鋭いトゲに毒を備えているものもいるのです。

ミノカサゴの仲間は、ヒレが非常に長く、優雅な姿をしています。しかし、背ビレなどに毒があります。



毒トゲのせいで天敵がほとんどいない。そのためか、非常にゆっくりと泳ぐ。

ハナミノカサゴ

アイゴの仲間も背ビレや腹ビレなどに毒をもっています。さされると数時間～数週間痛むこともあります。



食用にする地方もあるが、調理する場合は先にトゲを切っておかないと危険。

アイゴ

オニカサゴやオニオコゼの仲間も背ビレなどに毒をもっています。この仲間は色も地味で、さらに砂の中に隠れてしまう習性があるため、気付かずにふんでしまう事故がよく起きます。



地味な姿で、砂の中に隠れているので、なかなか気付かない。

オニオコゼ

これらの魚は、身を守るために毒を持っているので、魚のほうから攻撃してくることはありません。海でこれらの魚を見つけた時は、むやみにさわらないようにしましょう。

オニオコゼの背ビレ

